

# 2014-1-2 サルの肝臓

牛病理 杉晋二

提出機関：スタンフォード大学 獣医療センター

症例：サル(アカゲザル) 11歳 雄

病歴

- ・長期的な視覚行動実験に供試。
- ・4年間頭部にヘッドステージを移植、その部位が慢性的に化膿。  
抗生剤や洗浄等の治療。
- ・実験が終了したため安楽殺。

肉眼所見

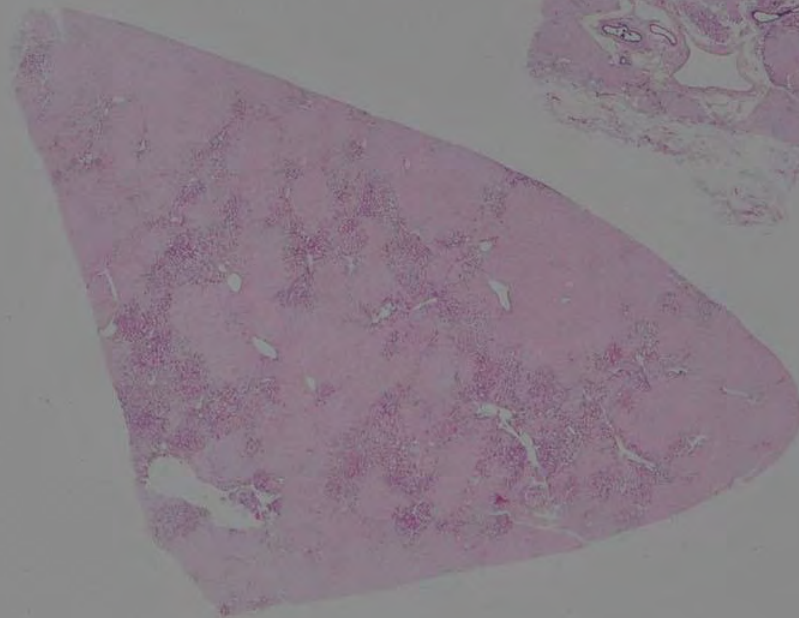
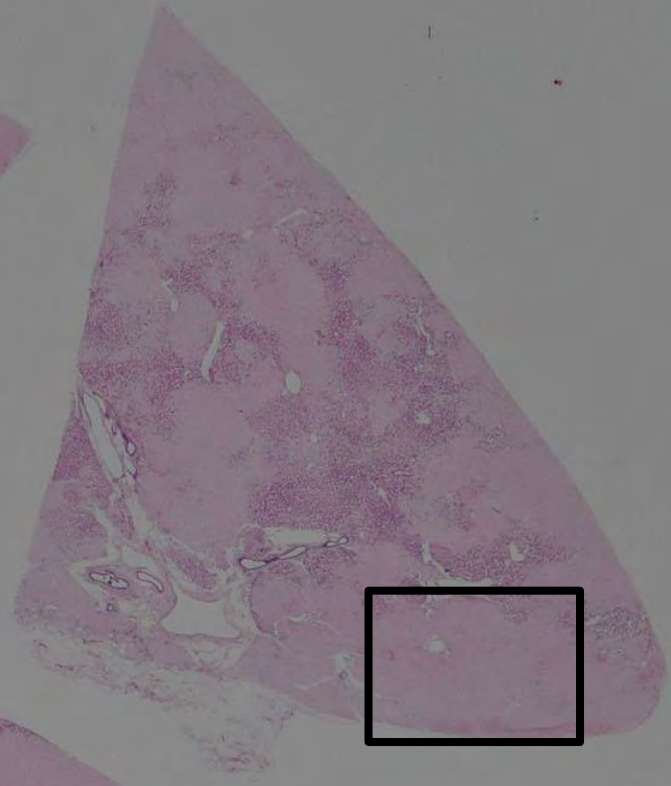
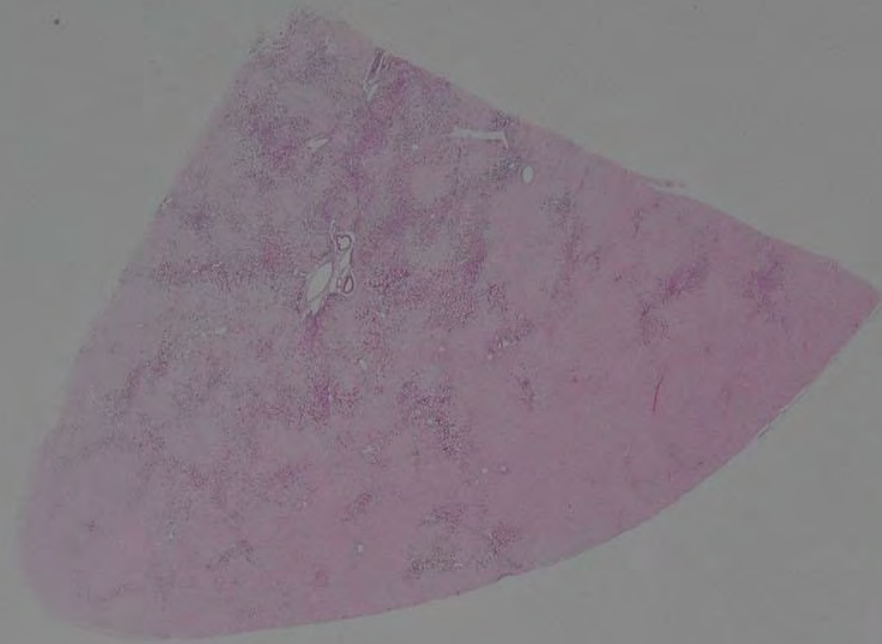
- ・健康状態良好。
- ・肝臓：腫大(体重6.8 kgに対して0.85 kg)
- ・移植部位の皮下にバイオフィルム形成。

検査成績

バイオフィルムには *Staphylococcus* spp., *Streptococcus* spp., *Enterococcus* spp. が混在。

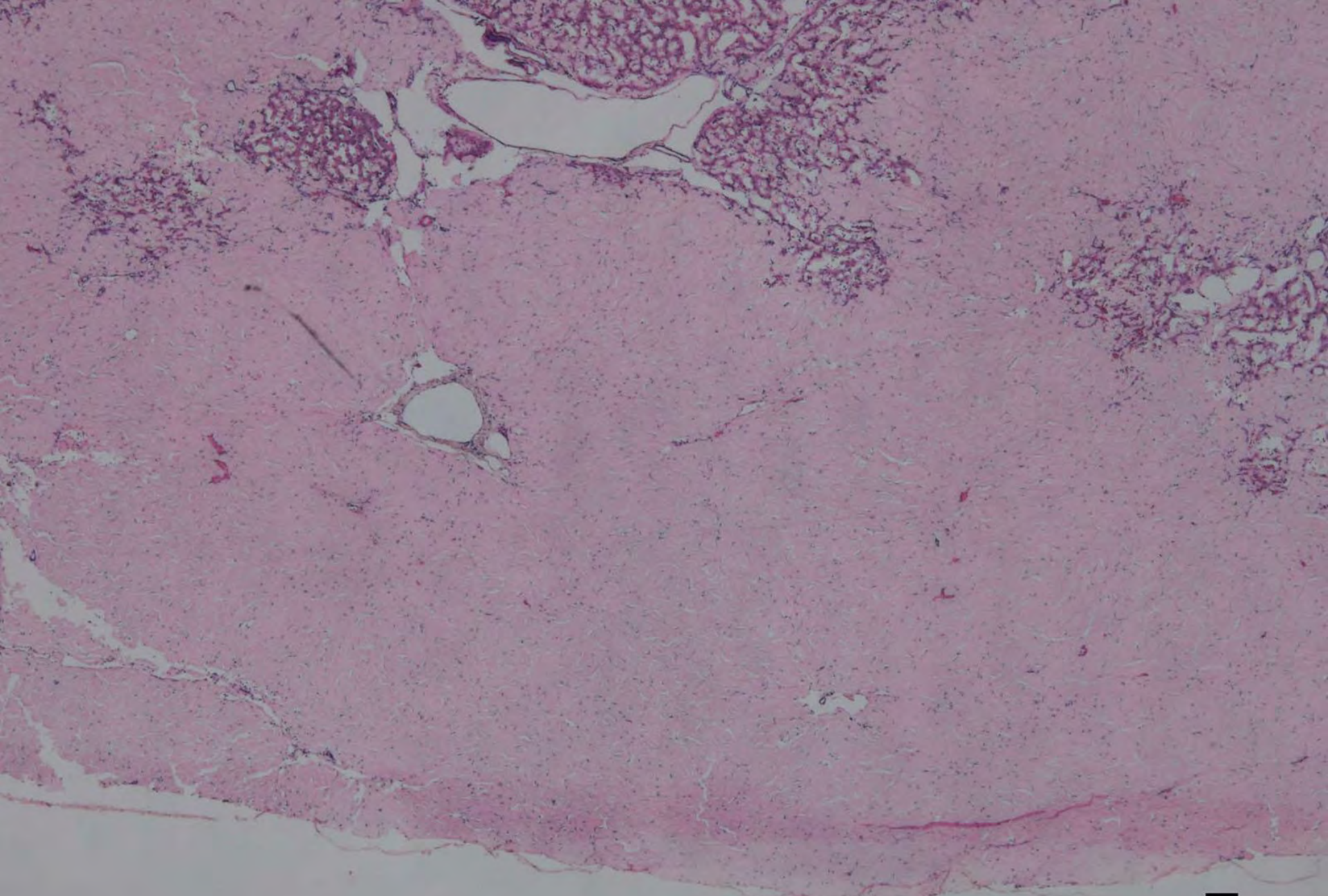






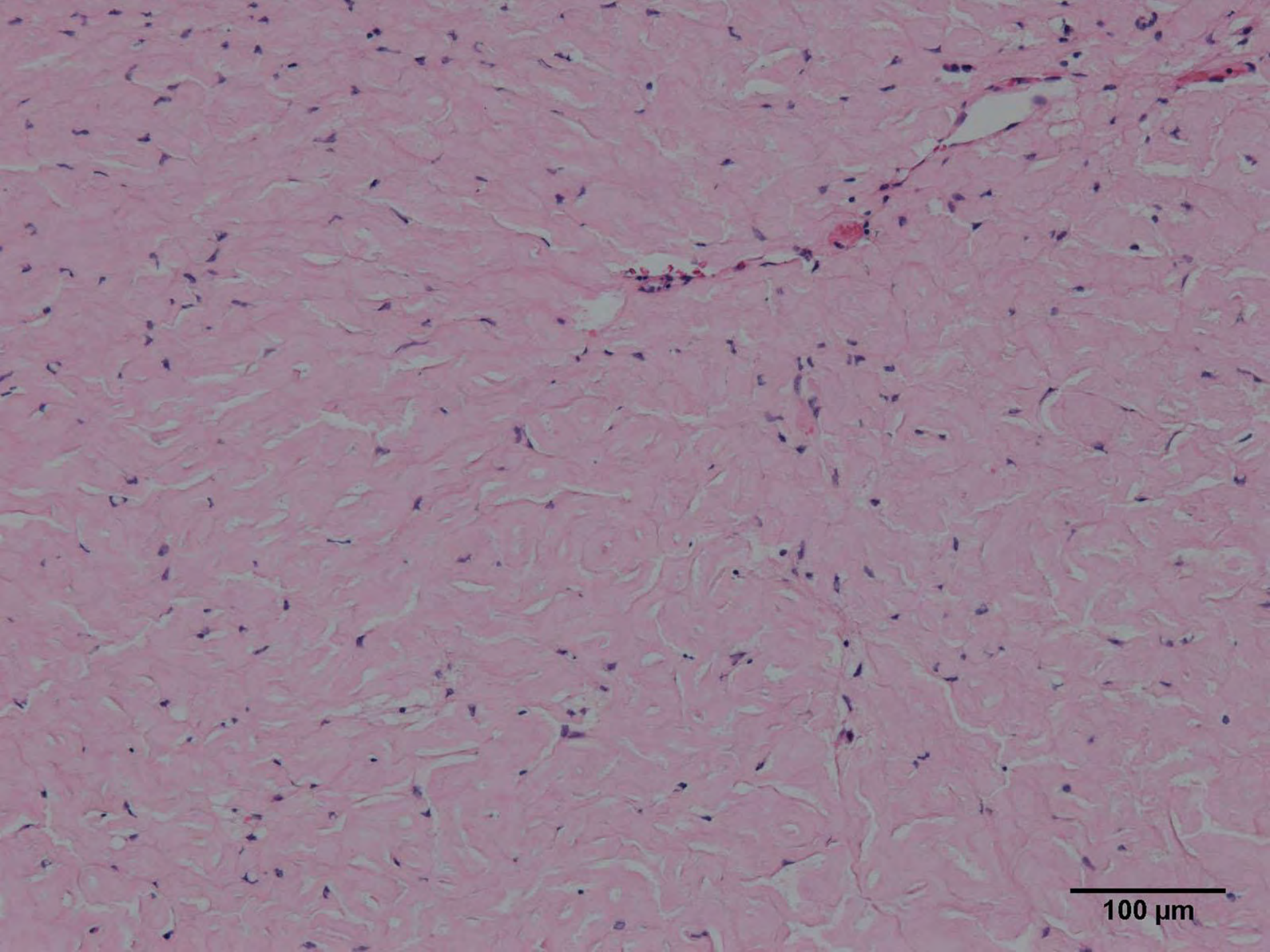
1mm





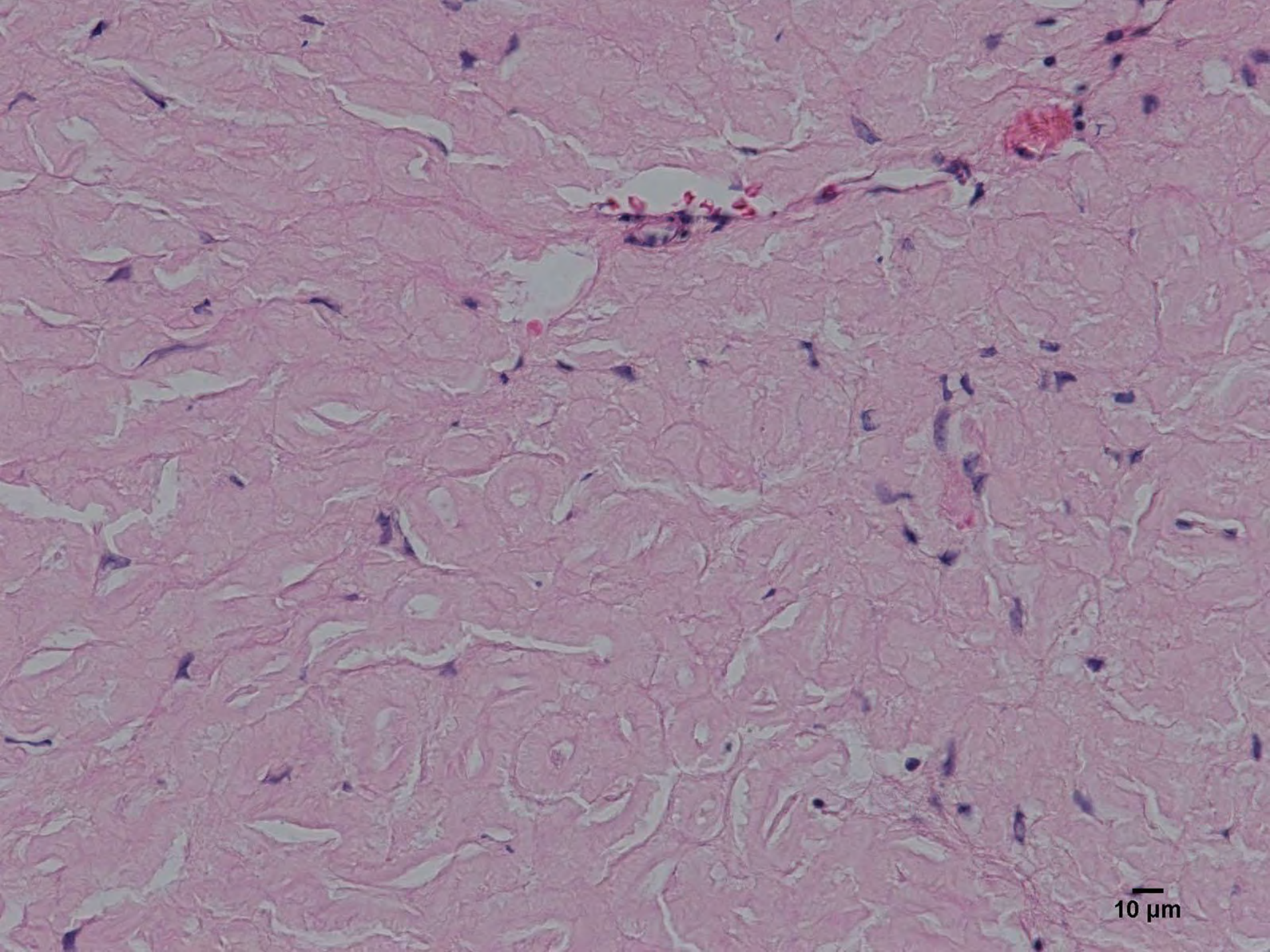
100  $\mu$ m





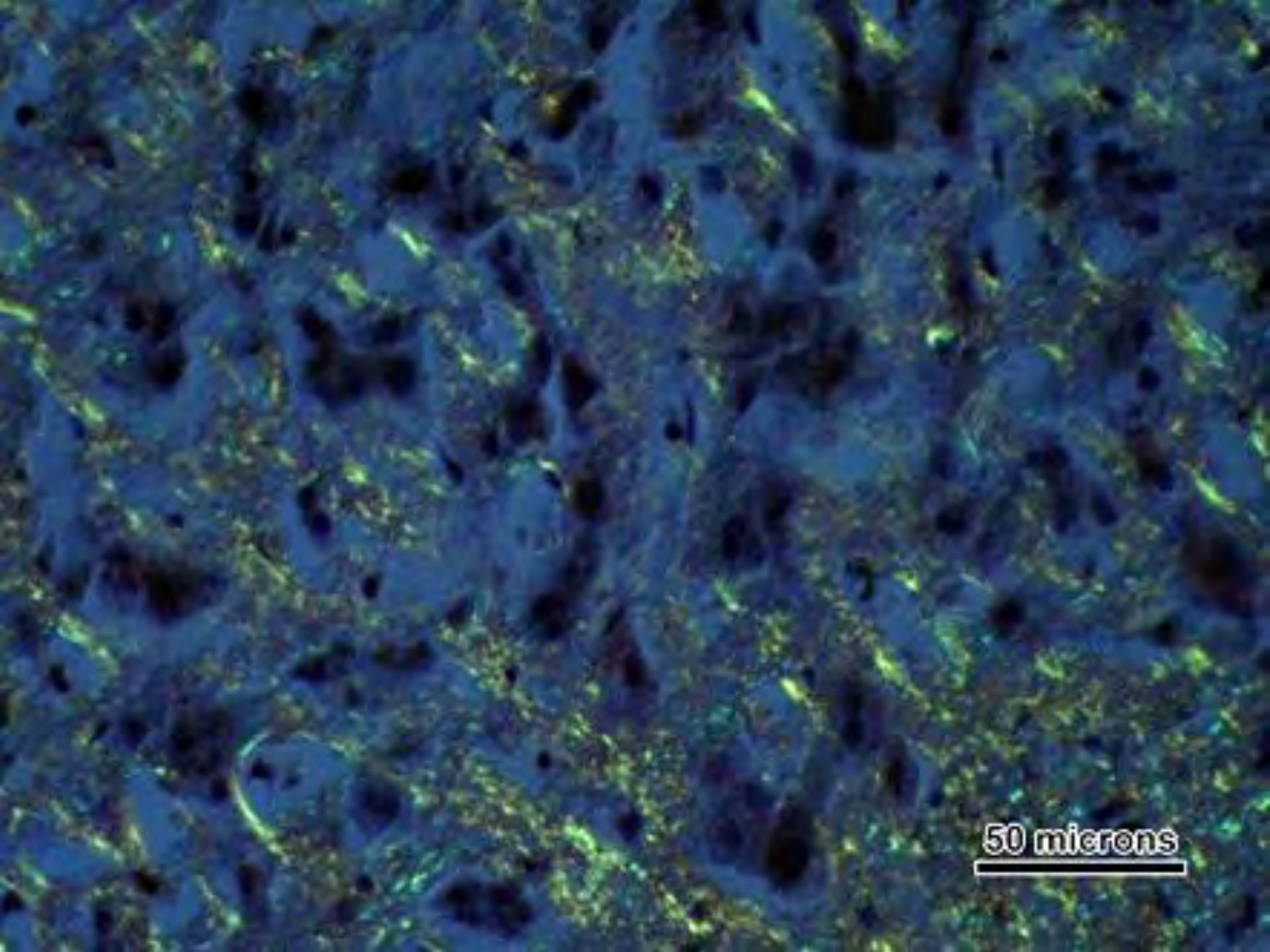
100  $\mu$ m



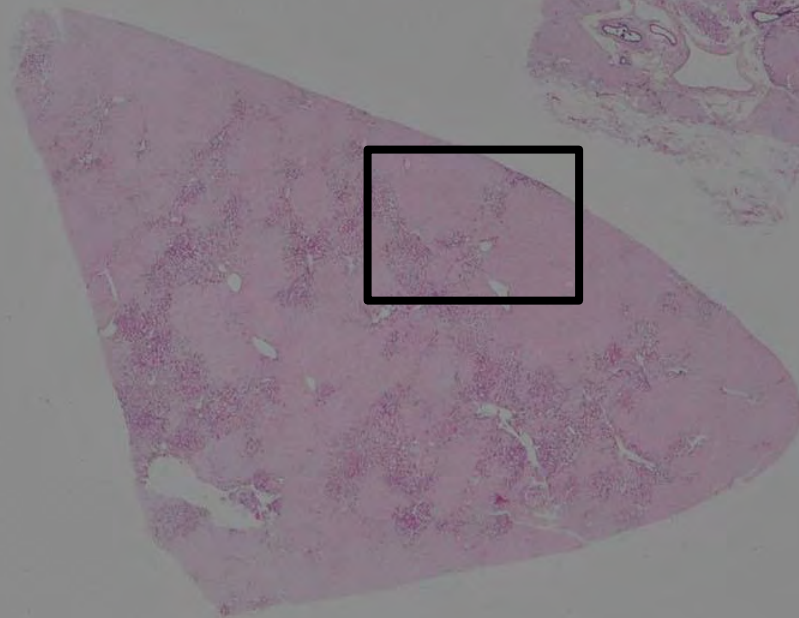
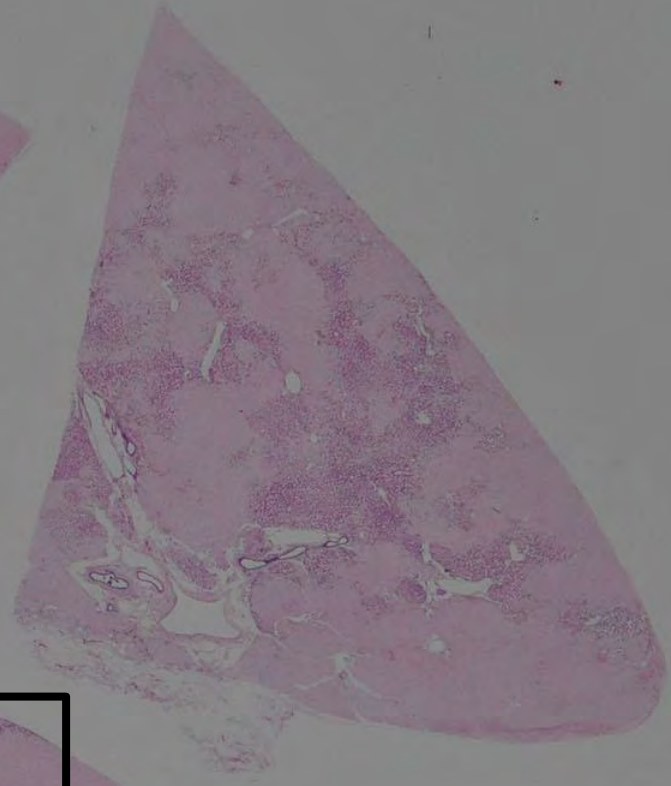
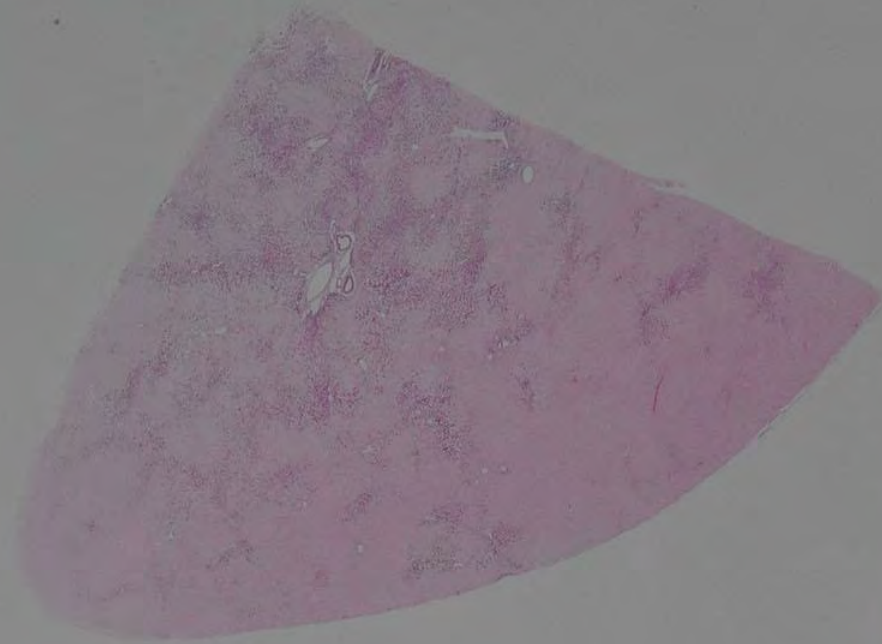


10 μm



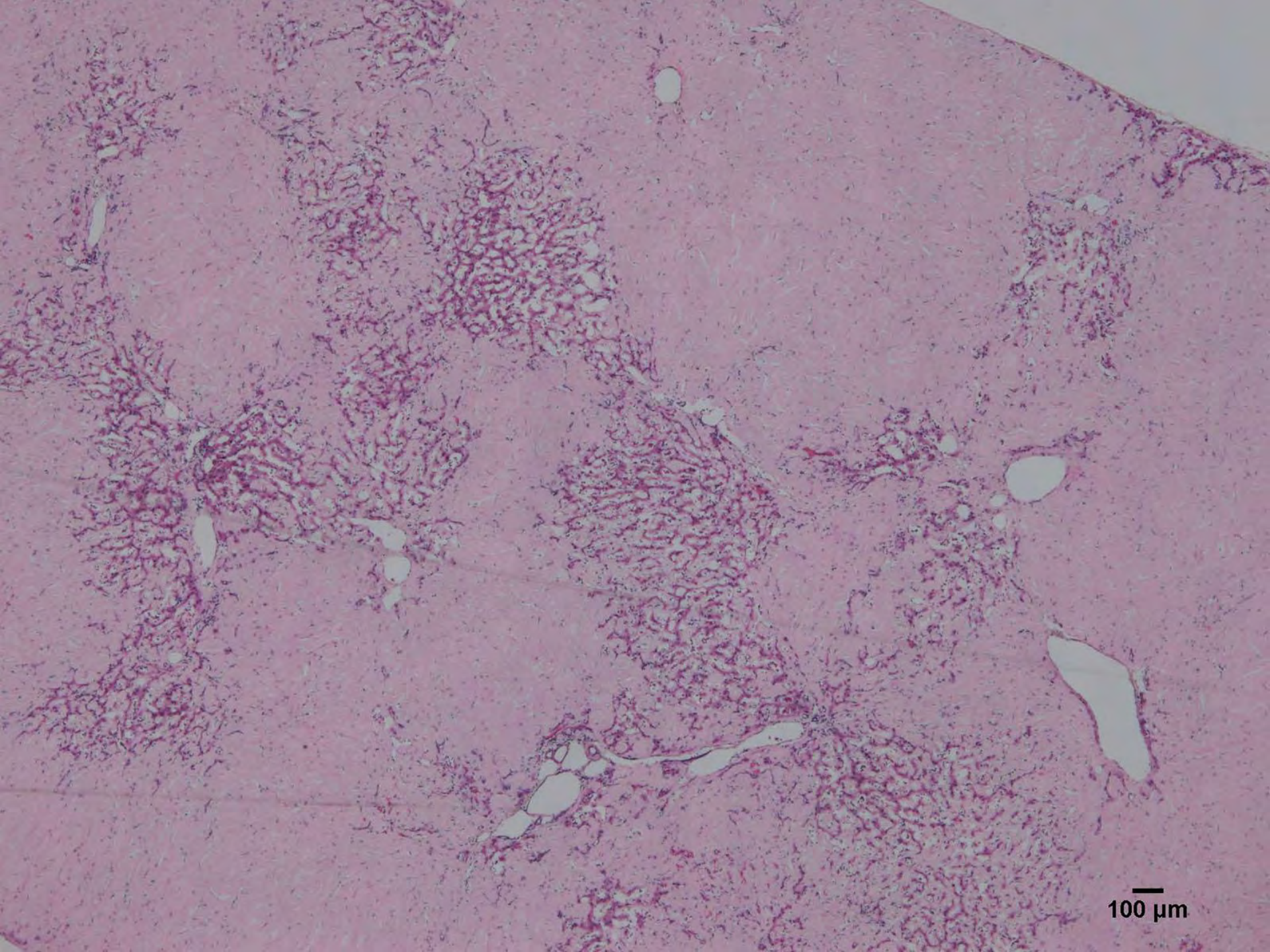


50 microns



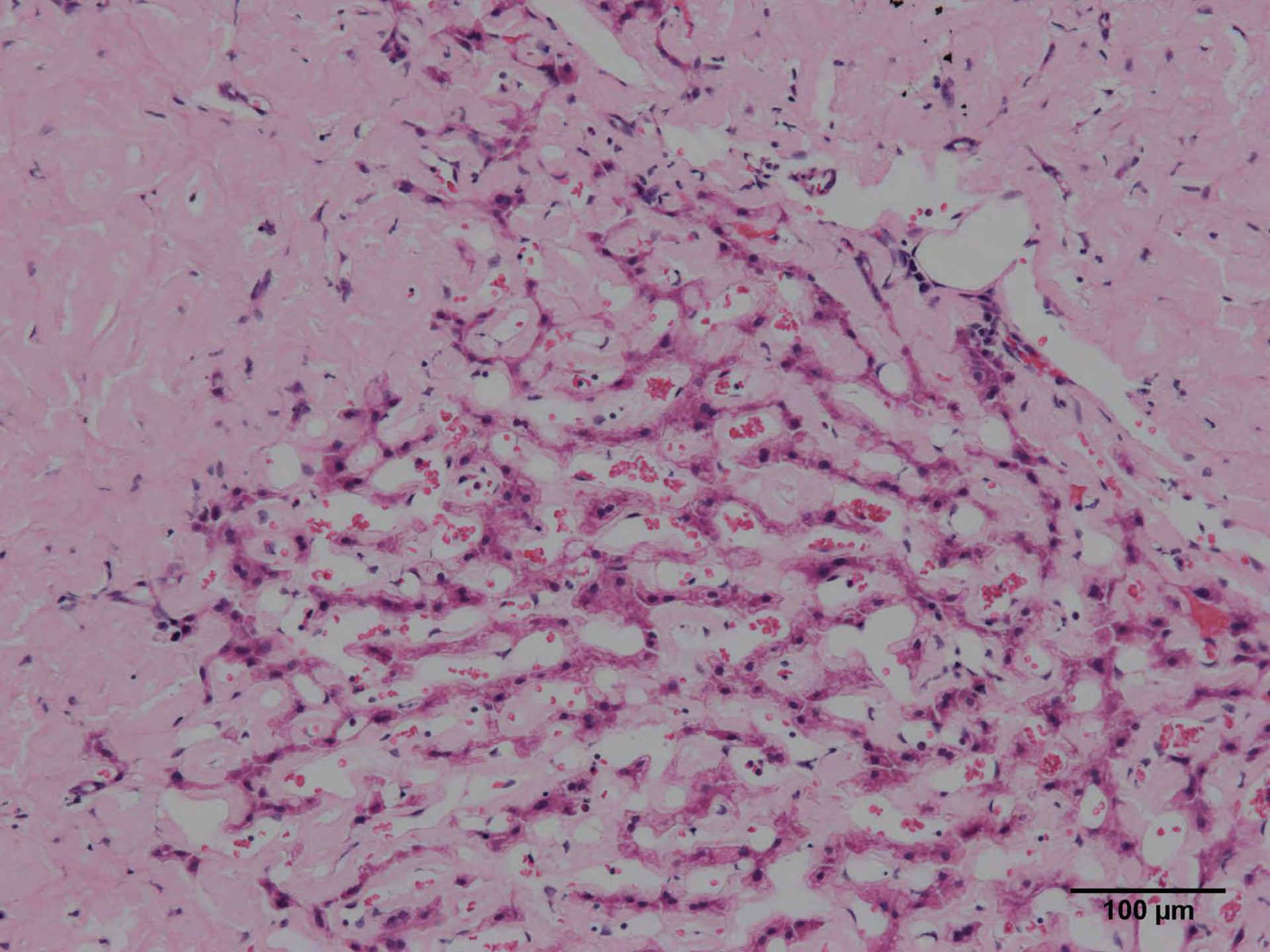
1mm





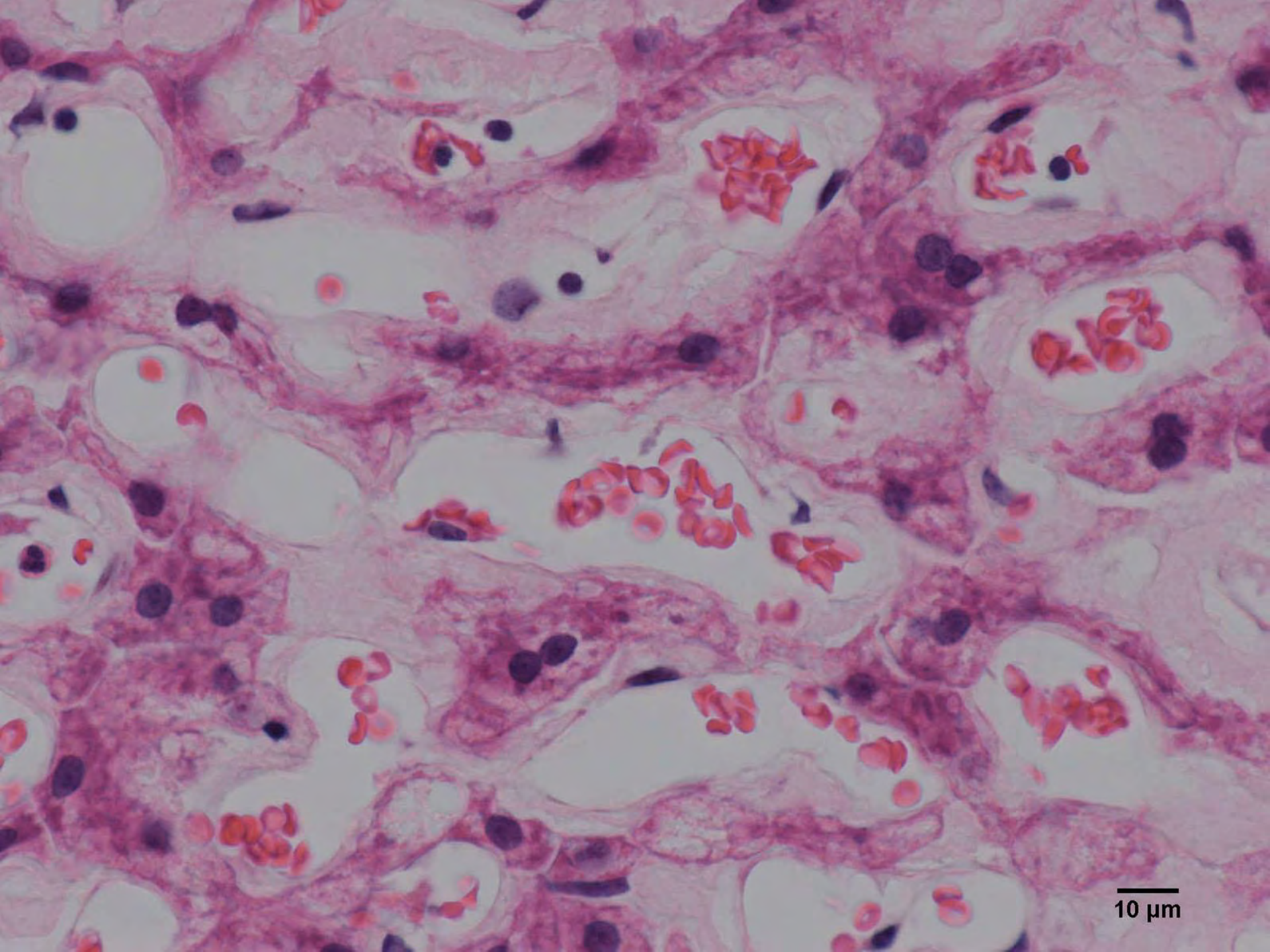
100  $\mu$ m





100 μm





10 μm

## 提出者の診断

- ・ 肝臓、肝アミロイド症、重篤、びまん性、慢性
- ・ Liver, hepatic amyloidosis, severe, diffuse, chronic.

## J P Cの診断

- ・ 肝臓、ディッセ腔：アミロイド症、びまん性、重篤、著しい肝細胞の萎縮と消失を伴う
- ・ Liver, space of Disse: Amyloidosis, diffuse, severe, with marked hepatocellular atrophy and loss.



# 提出者のコメント

## アミロイド症

- 分類 : ①原発性(primary):L鎖免疫グロブリン由来(AL)  
②続発/反応性(secondary/reactive):血清アミロイド(AA)由来  
③その他:脳性(cerebral)、膵島(pancreatic islet)。
- 診断 : ①H&E  
②コンゴレッド(AAは過マンガン酸カリウム前処理で染色性失う)  
③免疫組織化学
- 好発部位 : 肝ディッセ腔、白脾髄、消化管粘膜固有層、腎髄質、副腎皮髄質境界
- 今回の症例 : 他の組織では認められなかったので局所性アミロイド症。

## JPCのコメント

- アミロイドの超微細構造については2013年のWSC(第6回症例4)参照。
- 病変の重篤さに対して臨床兆候が欠如していたことに驚き(amazed)。本症例は移殖に伴う慢性炎症により産生された、反応性アミロイド(AA)であると考えられる。
- アミロイドに関する最近の学術的関心として、AAアミロイド症が種内あるいは種間で伝達することが示されたことが挙げられる。

